

受精卵課通信 NO.29

M情報5月号にて2020年1~4月のOPUによるAランク作出率を報告させて頂きましたので今回2020年5~8月経過報告させて頂きたいと思います。
前回報告では平均黒毛和種30%、ホルスタイン種は19%。さて夏四半期の経過は…

表1

月	区分	回収総卵子数	Aランク作出率	平均Aランク作出率	移植可能胚作出率	平均移植可能胚作出率
5	黒毛和種	120	28%	26%	35%	31%
6	黒毛和種	98	29%		34%	
7	黒毛和種	294	28%		34%	
8	黒毛和種	116	18%		20%	

表2

月	区分	回収総卵子数	Aランク作出率	平均Aランク作出率	移植可能胚作出率	平均移植可能胚作出率
5	ホルスタイン種	140	12%	15%	23%	25%
6	ホルスタイン種	160	13%		22%	
7	ホルスタイン種	113	23%		35%	
8	ホルスタイン種	121	14%		19%	

黒毛和種、ホルスタイン種共に前回と大きくは変わらない数字経過ですが、OPUをしていく中で今後の課題・傾向が見えてきました。

2週間間隔でOPUをしていますが傾向として黒毛和種ではOPU開始から4ヶ月程度経過すると回収数、発生数が落ちてきています。採卵によるストレス、OPUによる直腸のダメージ（出血etc）からも起因しているのかな、と思います。

傾向・課題という点で、ホルスタイン種が特にそうなのですが若齢牛OPUという点です。（海外では2~6ヶ月齢の子牛から腹腔鏡によるOPUも行うそうですが、ラボでは8ヶ月齢位で直腸に手が入る位のサイズから始めています）

若齢牛は黄体機能が弱く、卵子細胞質の成熟が未熟なので未経産・1歳未満の若齢牛は発生数が低いという点です。ハイゲノムの牛となると若齢牛は避けられないで若齢牛に合わせたホルモン剤プログラムを行って、若齢牛でも、「どこまで発生数をカバー出来るか」が課題です。今後ホルスタイン種OPUが益々増えていくので4ヶ月後OPU経過報告で若齢牛への取組の成果が出てくる頃では…と思っています。

9月には顧客農家さんが建設して頂いているOPU預託牛舎も完成してOPUの窓口も広くなりますので、興味ある方が居れば、気軽に声掛けして下さい。

こんにちは、受精卵課の筒井です。

中標津のあるるで買い物をしていた時のこと…

1種類しかないと思っていたなかしへつ牛乳(A2ミルク)にこんなにも種類があったなんて！と驚きました。珈琲牛乳や、成分調整牛乳がありました。ご周知の方ばかりかとは思いますが今回はそんなA2ミルクについてお話をさせて頂きます。



(端から端まで全部A2ミルク！！)

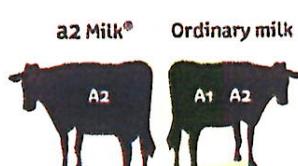
◎A2とは？？

牛乳のタンパク質はカゼインとホエイプロテインに分けられ、その割合はカゼイン80%、ホエイプロテインが20%となっています。このカゼインには、 α -casein(アルファカゼイン)、 β -casein(ベータカゼイン)、 κ -casein(カッパカゼイン)の3種類があります。この β カゼインはタンパク質中の約30%を占めます。

A1およびA2はこの β カゼインの変異体で、A1カゼイン・A2カゼインと2つに分類されます。A2ミルクとは、このA2カゼインのみを含んだミルクのことを指しています。(タンパク質を構成する分子であるアミノ酸の配列が、A1とA2では一つ違うことです。)

◎どうやって発見された？

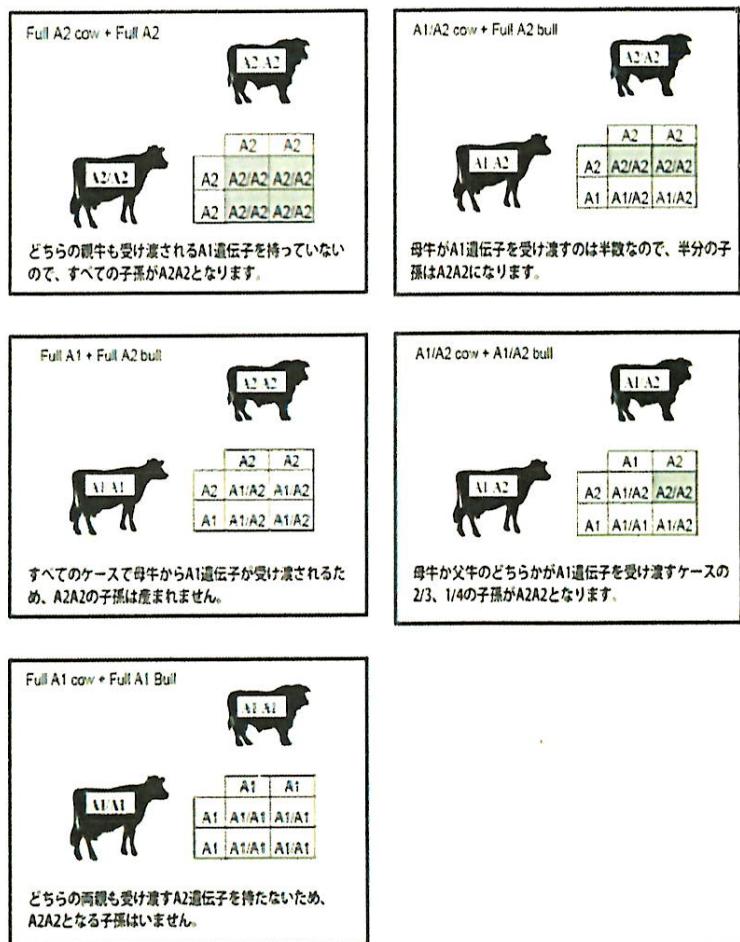
ニュージーランドの学者である、コリー・マクラクラン氏が発見。なぜ一定の人が牛乳を飲むとお腹を壊してしまうのかを研究している際に、牛乳のタンパク質にはA1とA2の種類があることを発見。また、牛はもともとは、A2タンパク質だけを含む牛乳、つまりA1タンパク質を含まない牛乳をつくっていたが、ヨーロッパの酪農業が進むにつれて、A1タンパク質が現れ初め、それが世界中の牛に広がって行った、ということも発見。しかし彼は、A1タンパク質を含まず、A2タンパク質しか含まない牛乳を作る牛がまだいるだろうと思い、探したところ、そういった牛を見つけたのです。



◎どうしたらA2ミルク

は出来る？

A2ミルクが出る牛は、遺伝子の型がA2/A2である必要があります。両親から一つずつ遺伝子が受け継がれるのです。例えば、父牛がA2/A2だったら、子には常にA2の遺伝子が受け継がれ、母牛がA1/A1の遺伝子を持っていたら常にA1の遺伝子が受け継がれます。この場合、子供の遺伝子型はA2/A1となるのでA2ミルクは出すことができません。下の図では、親の遺伝子の全てのパターンを表しています。



◎なぜA1ミルクはお腹の調子が悪くなる？

A1牛乳の消化中ではベータ-カソモルフィン-7(BCM-7)が产生され、A2ミルクの消化中ではBCM-7が产生されません。BCM-7はオピオイドペプチドで、タンパク質の断片です。(オピオイドペプチドとは、脳の受容体に作用するアミノ酸のことであり、意欲、感情、愛着行動、**ストレスや痛みに対する応答、食物摂取の制御**において重要な役割を果たしていることが知られています。)このBCM-7は胃から肛門への腸の動きの減速や腸の炎症など、消化器系に関連するさまざまな病気に関連しています。それとは別に、BCM-7の血流への吸収は、統合失調症、自閉症、およびその他の神経障害を引き起こす可能性があります。

あります。A1 ミルクを消化している時に產生されるこの **BCM-7** が、腸の炎症を引き起こす原因のため、お腹の調子が悪くなったり、下痢が起こってしまうのです。

◎最後に…

A2 ミルクは本当にお腹をくださないのか！？といふことで、牛乳やそのような類の物を食べた後にいつも調子悪そうにしている栗津さんに飲んでみてもらいました。

30 分後…

「いてててててて」と栗津さんが連呼し始め、トイレから帰ってこなくなりました。

そういえば乳糖不耐症の人には効かないんだった…



ブルブックでも、A2 サイアーなんて紹介文もよく見ます。A2 の母牛を OPU して A2 の種雄牛で体外受精してあげると、効率よく A2 の子牛が生産可能で、A2 ミルクの牛群をつくっていけるなんてこともあります。

(なかしへつ牛乳 A2 ミルクは 15 頭ほどの A2 ミルクの牛群から搾っているそうです。)

まだまだ研究が進められている状況ですが、自閉症や総合失調症、さらには糖尿病などにも効果があると言われています。海外では A2 ミルクは人気を博しているようです。国内でも、お腹が弱い人にどんどん知っていってもらえたならなあと思います。

受精卵課 筒井